

湘南倉庫運送（河野浩平社長、神奈川県平塚市）は2024年、創業75周年を迎えた。4月にはトラック運送部門のグループ会社を統合し、新たな組織でスタート。ロジスティクスの特長を軸に、持続可能な社会のプラットフォームを目指す「Beyond Logistics」をビジョンに掲げる河野社長（61）に、今後の展望などについて聞いた。

（吉田英行）

——創業者で参院議長をのどけない人たちが会い、務めた故河野謙三氏の孫に行くことのできない地域に当たる。4月で社長就任から1年が経った。

大学卒業後、総合商社グループに37年勤務し、その間に赴任・訪問したのは世界50カ国超。海外インフラ・プラント系の仕事に携わった。各国の大臣クラスの要人など日常では会うこと

のできない人たちが会い、行くことのできない地域に行けたことは大きな財産となった。

——労働環境改善と給与体系見直しを進めている。物流業界の担い手不足を解決するには、まず労働環境改善が不可欠。4月にトラック運送部門の会社を合併して70人規模になった

課題解決 異業種と共創

新たな価値 新たな事業



湘南倉庫運送社長
河野 浩平氏

が、ドライバーを含め週休2日制にしている。加えて、時間外労働に頼らない給与体系とすることが必要で、新たな体系への移行を進めている。

既に成果が出ており、この半年で社員の紹介によるドライバーの入社が増えている。倉庫スタッ

が、ドライバーを含め週休2日制にしている。加えて、時間外労働に頼らない給与体系とすることが必要で、新たな体系への移行を進めている。

既に成果が出ており、この半年で社員の紹介によるドライバーの入社が増えている。倉庫スタッ



——ビジョンに「Beyond Logistics」を掲げる。明るく豊かな持続可能な社会のプラットフォームを目指していく。社会課題の解決はロジスティクスの枠組みだけでは難しい。製造業、行政、金融、新技術を持つスタートアップなど異

なくした。

——オープンでフラットな会社を目指している。経営トップとしてビジョ

ブダウンの会社は、どうしてもトップの力量に依存してしまう。サステナブル（持続可能）な会社にするには、トップだけでなく社員が勉強やチャレンジをして成長することが大事。「この会社に来たら、こんな面白いことができる」と思える会社になりたい。

——ビジョンに「Beyond Logistics」を掲げる。明るく豊かな持続可能な社会のプラットフォームを目指していく。社会課題の解決はロジスティクスの枠組みだけでは難しい。製造業、行政、金融、新技術を持つスタートアップなど異